



マスクをつけてもみんなの絆があれば大丈夫! 想いがいっぱい詰まった合唱コンクールができて本当に良かった。



体育祭の代わりに開いた学年ごとのスポーツ大会は大成功! リーダー会で企画しみんなが協力して笑顔がいっぱいに広がった!



稲刈りをして改めて農業をする人たちの苦労や努力が分かった。自分たちが食べるお米にも農業をする人たちの愛情が詰まっているので、これからは感謝してお米を食べたい。



議会だより



いちさんぱち

2021年2月号

令和元年度の決算審査	1
常任委員会	2
一般質問	3
議案・請願審議結果	9
Doors -トピックス-	裏表紙

葉栗中学校

1947年の開校以来続く「祝い餅つき」は、2020年度から「田植え」「稲刈り」「脱穀」を2年生が行い、餅つきの代わりに収穫したもち米でつくる「祝いあられ」を卒業生に送る形に変更して、持続可能な新しい伝統行事として引き継いでいきます。

校長メッセージ

コロナ禍での制限はありますが、「体は寄せ合えなくとも心はしっかりと寄せ合って」を合言葉に、みんなでアイデアを出し合って、今できることに精一杯取り組み、マスク越しでも明るい歌声や笑顔があふれる学校をめざしてがんばっています。(校長 長谷川 伸弘)

12月定例会の概要

12月定例会は、11月30日から12月21日まで22日間の会期で行われました。

- 11月30日の開会日には、閉会中の継続審査としていました認定議案10件について、各常任委員会委員長から審査結果が報告され、いずれも認定されました。その後、3議案が市長から提出され、議案質疑を行い、総務委員会に付託しました。本会議を休憩し、総務委員会を開催して付託された各議案を審査しました。本会議を再開し、総務委員長から審査結果が報告され、討論を経て、3議案を原案どおり可決しました。その後、一般会計の補正予算案など76議案と1件の報告が市長から提出されました。
- 12月4日、7日の2日間に22人の議員が市政全般に対する一般質問を行いました。7日には開会日に提出された議案の質疑を行い、その後、議案と請願書2件を常任委員会に付託しました。
- 12月10日～15日までに開催した総務・福祉健康・経済教育・建設水道の各常任委員会において付託された各議案を審査しました。
- 12月21日の閉会日には、各常任委員会委員長から審査結果が報告され、討論を経て、市長から提出された76議案を原案どおり可決しました。その後、議員から2件の議案を提出し、いずれも可決しました。また、前回からの継続審査を含む9件の請願書については継続審査としました。さらに、市長から諮問議案2件が追加で提出され、全ての議案に同意しました。最後に、市長から1議案が追加で提出され、原案どおり可決しました。

議案等の内容については、広報一宮6、7ページ及び一宮市のウェブサイト(ホームページ)をご覧ください。

- ID 1019392(条例関係)
- ID 1033093(令和2年度予算)

各記事に掲載のID(7桁の数字)を、市ウェブサイトの「ページID検索」に入力すると、該当記事の情報がダイレクトに表示されます。

ID 1000010 表示

令和元年度の決算審査

9月定例会で閉会中の継続審査となった決算認定議案を10月14日から26日にかけて4つの常任委員会で審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録はウェブサイトに掲載しています。

ID 1022724

総務委員会

救急出動状況について

Q 高齢者の搬送人員は1万人を超えており、その中で一番多いのが急病で、2番目が転倒や転落などによる一般負傷、3番目が交通事故となっているとのことだが、高齢者の事故予防策の啓発などは行っているのか。

A ケガのリスクを減らす予防救急の中で高齢者の転倒事故予防策を紹介し、そのことを講習会等での説明やウェブサイトに掲載するなどして啓発に努めています。

災害用街頭消火器の整備について

Q 街頭消火器が9,805本あるとのことだが、実際に使用する市民が取り扱うための研修等は実施しているのか。

A 令和元年度は防火防災訓練として128回実施しています。また、消防のウェブサイトやユーチューブにおいて消火器の使用方法を紹介して、有事の際に適切に使用できるよう広報活動を実施しています。

福祉健康委員会

病院事業会計について

Q 一宮市立市民病院の一般病床利用率は81.6%であるが、適切だと考えているのか。

A 市民病院と同様に救急医療を行っている黒字経営の病院では、在院日数や入院単価はほぼ同じ状況ですが、病床利用率85%から90%となっています。市民病院の病床利用率を高めるためには、地域のクリニックとの連携がポイントになると考えています。

国民健康保険事業特別会計について

Q 国保会計の累積赤字を解消するため、それに見合った保険税率としていくことは理解するが、数年後に累積赤字が解消されたあとはどうする予定か。

A 累積赤字が解消されたときは、国保財政の弾力化のため、ある程度の額までは財政調整基金に積み立てて、その後なお黒字が見込まれる場合は、保険事業の充実や保険税の引き下げなどの方策が考えられます。

経済教育委員会

キソガワフユスリカ対策について

Q 市が対策として設置している防虫ネットの成果はあったのか。

A 防虫ネットは、成虫になってからの対策になり、膨大に飛んでいるものを捕獲することは難しく、抜本的な対策としては、水中にいる卵や幼虫の時期に対応する必要があります。そのため、木曽川を管轄する国に対して要望を続けています。

意見 国や県などと連携しながら、地域住民が不快な思いをしないよう、より効果的な発生源への対策を検討してほしいとの意見があった。

オリナス一宮の活用について

意見 今までいろいろなPRを実施しているにも関わらず、平成28年8月の供用開始以来、一貫して稼働率が低く、令和2年2月に実施した無料で利用できるモニタリングにおいても利用者が少ない。こういった現実をしっかりと認識し、今一度、オリナス一宮の活用方法の見直しを検討してほしいとの意見があった。

建設水道委員会

県から購入する水の増加について

Q 水道水のうち、県からの購入分が増加しているのはなぜか。

A 水道水は、自己水源である地下水及び伏流水を利用していますが、不足する分を県から購入しています。近年、自己水源である地下水井戸の一部で、老朽化のため砂が混じるなど、水質が劣化しており、取水量を減らしています。

このため、今後も県から購入する水量は増加していきます。

橋梁保全事業について

Q 市内で点検や補修すべき橋はいくつあるのか。

A 点検対象となる長さ2メートル以上の橋は、市内に905橋あります。5年に1回の頻度で行う点検は、平成26年度から実施しており、現在までに全ての橋で1回目が済んでいます。このうち34橋は次回の点検までに修繕が必要との判定となり、令和2年度末までに22橋の修繕が完了する予定です。

常任委員会

4つの常任委員会で議案を審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録は2月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

総務委員会

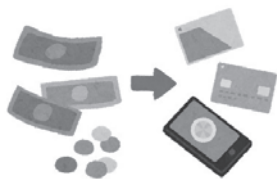
窓口手数料等キャッシュレス決済拡大事業について

Q キャッシュレス決済の件数及び利用率はどの程度か。また、今後QRコード及びクレジットカード決済が導入されることにより、どの程度の利用率になると見込んでいるのか。

A 令和元年度の電子マネー利用件数は約2,700件で、利用率は1%程度です。今後の利用率は、先行して導入している他都市の状況から3%を見込んでいます。

意見 キャッシュレス決済に不慣れな方も多と思われるので、機器を導入した各窓口に必要な応じて職員を配置するなど、サポート体制を強化してほしいとの意見があった。

意見 キャッシュレス決済を行う方に対して優先窓口を設置するなど、事業の促進につながる方策を検討してほしいとの意見があった。



福祉健康委員会

黒田西保育園の民間移管について

Q 老朽化している保育園を民間へ移管することで、施設の整備費や運営費に国や県から補助金を受けることができるとのことだが、その補助はどの程度なのか。

A 整備費については限度額がありますが、国から対象経費の2分の1以上の補助が、また運営費については国と県を合わせて4分の3の補助が受けられる見込みです。

意見 黒田西保育園を民間へ移管することは、保育園を利用している子どもやその保護者、地域住民への影響が大きく、公立保育園のまま建て替えるべきと考えるため、議案第121号には賛成できないとの意見があった。



賛否の分かれた議案について

意見 議案第74号、80号、120号については反対であるとの意見があった。

経済教育委員会

市民農園の管理について

Q 起連区の市民農園を閉園し地主に返還するのにあたり、残存物の処分費の一部を負担するとのことだが、どのような作業をするのか。

A コンクリートブロック、鉄板などの農作業とは関係ない残存物を撤去します。

意見 原状回復の費用は農園の借主が負うべきであり、日頃の管理を行っていただければ市の負担は減るので、ほかの市民農園では、通常の管理を徹底してほしいとの意見があった。

一宮市産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例の制定について

意見 トラブルの多くは、施設設置前の段階で住民に十分な説明がないことや、住民の意見を設置者が理解していないなど、双方の合意形成が出来ていないことが原因とのことだが、設置者が住民とトラブルにならないようにこの条例を活用してほしいとの意見があった。

建設水道委員会

福塚線道路改築事業について

Q 工事請負費の増額理由は何か。

A 工事区間の一番南側となる県道名古屋一宮線との接続部の交差点について、公安委員会と協議を行った結果、防護柵の設置、交通誘導員の増員、信号機や横断歩道の切り替えを夜間に行うなど、変更が必要となったためです。

Q 切り替えの予定日はいつか。また、切り替え後は即日供用をするのか。

A 切り替えは、令和3年2月22日の夜間の予定です。また、切り替え後は、交差点を含む一区間を部分的に供用開始する予定です。

一宮市屋外広告物条例の制定について

Q 県の基準に比べて規制が強化される部分もあるが、どのように考えているのか。

A 例えば国道22号沿が禁止地域となるため、県の条例では設置できていた広告物が、市の条例では設置できなくなるものも出てきます。条例施行後は、経過措置期間内に市の基準に合うよう指導していきます。

一般質問

12月定例会では22人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は2月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

本稿は、質問者が作成しています。 ※本人の希望により、掲載しない場合もあります。

ID 1005109

12月4日(金)

- ・八木 丈之 議員 3P
- ・尾関さとる 議員 3P
- ・高橋 一 議員 3P
- ・小林けいめい 議員 4P
- ・服部 修寛 議員 4P
- ・渡部 晃久 議員 4P
- ・岡本 将嗣 議員 4P
- ・中村かずひと 議員 5P
- ・東淵 正人 議員 5P
- ・水谷千恵子 議員 5P
- ・柴田 雄二 議員 5P
- ・河村 弘保 議員 6P

12月7日(月)

- ・竹山 聡 議員 6P
- ・大津乃里予 議員 6P
- ・本山 廣次 議員 6P
- ・西脇 保廣 議員 7P
- ・平松 邦江 議員 7P
- ・彦坂 和子 議員 7P
- ・市川 智明 議員 7P
- ・木村 健太 議員 8P
- ・後藤美由紀 議員 8P
- ・宇山 祥子 議員 8P

八木 丈之 議員
令和会



コロナウイルス禍における市民病院の運営状況について

Q 市民病院での新型コロナウイルス感染者の受入状況はどうなっているか。

A 令和2年2月から感染症専用病床への受け入れが始まり、8月中旬からは一般病棟のワンフロアを空けて感染者の増加に対応できる備えをしてきました。一宮保健所の差配により尾張西部地域の他の病院もできる限りの受け入れをしており、なんとか入院が必要な方を入院していただくことができている状況です。

Q 地域の病院同士が協力してどのような対策をしているか。

A 一宮市医師会が事務局となり、医師会役員と病院長などによるオンライン会議を毎週開催して入院患者数などの状況報告を行い、協力体制を築いています。

Q 経営面への影響はどれくらいか。

A 令和2年4月から10月までの入院患者数は昨年同時期と比較して11,293人、11%減少、外来患者数は27,829人、14.1%減少しています。医療行為に基づく収益は、2億5千万円余、2.3%減収となっています。

Q 収支改善のために行っていることは。

A コロナ対策のための国や愛知県の補助金を可能な限り請求して収入の確保に努めています。

尾関さとる 議員
令和会



競輪場跡地及び周辺の環境について

Q 競輪場跡地の開発はどうなったのか。

A アークランドサカモト株式会社が、TOBにより株式会社ビバホームを完全子会社化しました。親会社は変更になったものの、経営主体は従前のままで、店舗を建設することに変更はありません。しかし規模について、交通渋滞緩和とコロナ禍のため、建物を4階建から3階建にし、売場面積も当初計画の約3万㎡から約2万7千㎡へ1割ほど減少となります。

Q これほどの大型のショッピング施設が出来ると周辺道路の渋滞が予想されるが、渋滞対策はどのように考えているか。

A 国道155号からの進入は進行方向の規制が可能かどうか調整・検討しています。和光交差点は、西向き県道に右折レーンを新たに設け、右折車による渋滞を起こさせないように検討しています。

Q 平島公園野球場を一宮総合運動場の球場にプロ対応できるように統合し、その跡地に芝生を張り憩いの場に、あるいは商業施設を整備するという考えもある。平島公園を縮小、分割することは可能か。

A 都市計画法に基づき位置、区域等を決定しており、商業施設を配置する目的で、公園の縮小、分割することは極めて困難であると考えております。

高橋 一 議員
新緑風会



両親離婚後の面会交流サポートについて

Q 離婚後の子どもの養育は、親権者だけでなく別居親も協力することが大切。国も面会交流支援を定めている。一宮市はこの面会交流支援事業を実施しているか。

A 実施はしていませんが、各種相談事業の中で離婚に関する相談があった場合、面会交流や養育費の取り決めを行うよう助言をしております。

Q 面会がうまくいかない原因として、親権をめぐっての夫婦の対立激化があるように思う。面会交流支援については、行政の早期介入が望ましいと考えるが。

A 現状では、当事者間の問題解決に行

政が介入することは困難であります。

Q 一宮市の子ども・子育て支援事業計画にも、「父母その他の保護者は子育てについての第一義的責任を有する」との基本理念がある。面会交流サポート事業実施は重要な政策だと思うが。

A 両親が離婚したとしても、普段は一緒に生活しない父または母と交流を続けることは、子どもの健全な成長にとって非常に重要なことであります。現在、面会交流の支援について具体的な事業は行っていませんが、面会交流に関する社会的な理解についての啓発や、効果的な相談支援などを含めて研究をしていきたいと思っております。

新緑風会
小林けいめい
議員



8050問題について

Q 現在、社会問題となっている8050問題。高齢者である親が、ひきこもりなどで就労しない40代以上の子どもを養っている問題だが、一宮市では、ひきこもり状態にある方を把握されているか。

A 具体的な数字は把握しておりませんが、関係各課の相談窓口で、50代以上の子どもと80代以上の親の世帯で困難事例の相談を見受けられることがあります。

Q ひきこもりの相談について、どこに相談したらよいかわからないご家庭もあると思うが、一宮市は、どのように周知しているか。

A 現在市の公式ウェブサイトでは、ひきこもり相談窓口として、一宮保健所の「精神保健福祉相談・メンタルヘルス相談」を掲載しています。

Q 4月から中核市に移行する一宮市として、どのような対応ができるのか、お伺いしたい。

A デリケートで複合的な問題に触れることが多いため、どこか1か所の機関だけで解決することは困難です。福祉総合相談窓口は支援事業の企画立案や調整についての役割を担っていくことも検討し、関係機関と連携して支援にあたりたいと思います。

一宮市民クラブ
服部 修寛
議員



「脱ハンコ」「ハンコレス」行政のすすめ

Q 中核市移行を機に、市民負担の軽減とオンライン推進の為、積極的にハンコレス行政を進めるべきと考えるがいかがか。

A 押印が義務づけられているものを除き、原則廃止する方向で検討していきます。

人権擁護推進の観点から、性的少数者（LGBT）などへの社会環境整備について

Q 市民が提出される書類等の性別記載の見直しをお願いしたいがいかがか。

A 性別記載の必要性について確認し、削除できるものは速やかに削除していきます。

市民の安全・安心の確保について

Q 高齢者が犠牲になられる交通事故が多発している。注意喚起をお願いしたい。

A 各種団体や企業とも連携し、高齢者に対する交通安全教室や啓発に力を入れて、交通安全意識の高揚に努めていきます。

Q 重要窃盗犯罪認知件数が愛知県ワーストで特殊詐欺被害も増加している。犯罪撲滅には地域の防犯活動が有用と思うが。

A 地域住民の防犯意識高揚と地域防犯力の向上が大切と考えます。防犯カメラやドライブレコーダーの設置にも努めます。

令和会
渡部 晃久
議員



地域文化広場について

Q プラネタリウム館の現在の利用料金、年間利用者数及び1上映あたりの平均利用者数を確認したい。

A 料金は1回あたり大人60円、中学生以下は30円、令和元年度の年間利用者数は3万人余り、1回あたりの平均利用者数は41名でした。

Q 料金は近隣施設と比較し、非常に安価だが、椅子や投影機等の老朽化が著しい。適切な受益者負担の上で施設のリニューアルを図ることが適切と考えるがいかがか。

A 投影装置一式を更新するには、3億5千万円を要する見込みのため、慎重に検討

しています。施設更新の際には、適切な料金への改定を検討しますが、現在のところ改修実施の有無・時期は未定です。

学校のバリアフリー化について

Q バリアフリー法が改正され、令和3年4月から公立小中学校も対象となる。障害者だけでなく傷病対応にも有効なスロープ、エレベーター等の整備に対する改修予定は。

A 現時点でスロープを全校に設置する予定はありません。しかしエレベーター等を含め、文部科学省が改定予定の「学校施設バリアフリー化推進指針」を参考に、今後研究していきたいと考えます。

令和会
岡本 将嗣
議員



生活保護受給者の実情と今後について

Q コロナ禍における生活保護受給者の状況はいかがか。

A 2020年10月1日現在で昨年と比較すると生活保護世帯数は微増、生活保護受給者数はほぼ横ばい、相談数は、新型コロナによる影響もあり20%増加していますが、生活保護申請数は、ほぼ横ばいとなっています。

Q 愛知県下で市営住宅の入居条件としての連帯保証人を不要としている自治体があるが、一宮市は連帯保証人を入居条件としており、連帯保証人の廃止については、これまで検討中との回答をしてきたが、現

時点ですべてどのように考えているのか。

A 連帯保証人をお願いする理由として家賃滞納の際の回収先の確保、更には賃借人が滞納に陥らない為の抑制策と考えています。今後身寄りのない単身高齢者や障害者の方の増加が予想される中、入居希望者の努力にも関わらず連帯保証人が見つからない場合には、ご本人からの聞き取りや関係書類の確認により「確保困難者」と判断できれば、緊急連絡先の登録程度に留めて入居を認めるなど、実情に応じた対応を検討しています。

新緑風会
中村かずひと 議員



オンラインの活用について

Q 最近の国のデジタル変革（DX）加速をふまえ、一宮市もデジタル変革の推進を加速すべきと考えるが、市の考えは。

A 国から示される自治体DX推進計画により、デジタル化が一層加速すると考えられますので、取り組みを前倒しするなど、デジタル化を推進していきたいと考えます。

Q 現在、面会禁止である市民病院において、オンラインを活用した面会ができるか。

A オンライン面会を実施している病



院もありますので参考にし、今後、利用できる運用方法を検討したいと考えます。

動物愛護センターについて

Q 動物愛護精神の醸成のための新規事業として、どのようなことを行う予定か。

A 動物遺棄防止を啓発するための街頭キャンペーンや動物愛護に関するパネル展などができないか検討しています。

Q 旭川市が実施している地域猫（野良猫）増加の抑制を、一宮市も行っては。

A 野良猫の増加を抑えるため、所有者のいない猫の避妊・去勢手術に重点的に助成できるよう制度変更を検討しています。

令和会
東淵 正人 議員



AIチャットボットについて

Q 一宮市では、2020年11月16日からAIチャットボットを導入したが、実証実験中となっている理由は。

A 運用開始までの期間が短く、Q&Aデータを随時登録したものの、質問に対して正確な回答が導けないケースや、不用な回答が表示されてしまうなど、AI機能の調整が十分でなかったためです。

Q 今後、どのようなAIチャットボットにしていく予定か。

A 問い合わせの多い質問事項や、回答できなかった質問事項などを参考にして常に改善し、いつでも、どこでも、24時間、

365日、知りたい行政情報がすぐに入手いただけるよう努めてまいります。

行政手続きのオンライン化について

Q オンライン申請の件数が伸びない理由は。

A オンライン申請だけでは完結しない手続きがあること、本人確認に必要なマイナンバーカードの普及率が伸び悩んでいること、キャッシュレスの方法が確立されていないことなどが要因ではないかと考えます。今後の国の動向を注視しつつ、できる限り速やかに対応できるよう進めていきたいと考えています。

公明党一宮市議団
水谷千恵子 議員



ごみを減らして環境を守ろう

Q 食品ロスを削減するには、事業者側だけでなく一般家庭においても取り組んでいかなければならない。令和元年、愛知県が今後の食品ロスに役立てることを目的として一般家庭から出される可燃ごみの調査を行ったと聞いている。この調査内容と結果について教えてほしい。

A この調査は一般家庭での食品ロス発生状況の実態を把握するために一宮市をはじめ県内6市において実施しました。令和元年9月と12月の2回、新興住宅地、既存住宅地、集合住宅地、農家地区に分けて、回収した可燃ごみについて調査をしまし

た。結果としましては、可燃ごみの中に含まれる食品ロスの割合が県内6市平均で16.2%に対し、一宮市も同率の16.2%でした。また、市内4か所のうち、若い世代が多い新興住宅地が食品ロスの割合が一番高い結果となりました。

Q 可燃ごみの中に含まれている食品ロスのうち手つかずのまま直接廃棄された食品の割合や食べ残しの割合はどうだったのか。

A 食品ロスのうち、未開封や手つかずのまま廃棄された直接廃棄は可燃ごみの全体の10.3%、食べ残しは4.8%という結果でした。

公明党一宮市議団
柴田 雄一 議員



地域共生社会の実現への取組

Q 「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が公布され、一部を除き施行日は令和3年4月1日になる。市として、取り組むものはなにか。

A 地域の特性に応じた認知症施策や介護サービス提供体制の整備等の推進と介護人材確保及び業務効率化の取組の強化です。市町村の包括的な支援体制の構築の支援は、市の任意事業に対する国の支援です。

Q 市は今後、重層的支援体制の整備について、どのように考えるか。

A 「8050問題」等複合的な相談に対応できるよう、福祉総合相談窓口を令和3年4

月から福祉部に設置予定です。これにより、包括的な支援体制を構築するための第一歩として相談支援体制が強化されますので、引き続き重層的支援体制の整備については関係機関と協議、検討をしていきます。

Q 地域共生社会の実現への取組の中で、高齢者、障がい者等へのデジタル活用支援も考慮されたい。

A 高齢者には、おでかけ広場やふれあい・いきいきサロンの主催者に対して、オンラインによる開催に向けた研修をする予定です。視覚障害者には、令和2年度はコロナ禍で中止ですが、パソコン教室事業を実施して社会参加の促進をしています。

河村 弘保
公明党 一宮市議員



脱炭素へむけ、いま、できること

Q 一宮市の温室効果ガス排出量の削減目標を伺う。

A 2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減すること、2050年度には80%削減することを目標に設定しています。

Q CO₂削減、地球温暖化問題を解決するには、民間事業者との情報交換や協力体制を強化すべきと考えるがいかがか。

A 地球温暖化問題は、市民、事業者など全ての主体が取り組む必要があり、方向性が同じ民間事業者や市民などとの連携も重要だと考えます。民間事業者との情報交

換や協力により、大きな効果に繋がることもありますので、他市の事例などを参考に検討したいと考えています。

Q 地球温暖化抑制にむけて、今後の取り組みについて伺う。

A 国は「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」と公表しています。「いちのみや気候変動アクションプラン2030」において、SDGs（持続可能な開発目標）の17のゴールとの関係性を明示し、今後、市民及び事業者への意識啓発を図っていきます。また、地球温暖化を抑制するため、より具体的な取り組みを推進していきたいと考えています。

竹山 聡
令和会 議員



企業版ふるさと納税について

Q 一宮市が企業版ふるさと納税の制度の導入を決め、募集を始めたのはなぜか。

A この制度の期間が令和6年度まで延長されるにあたり、税制上の優遇措置が大幅に拡充され、より使いやすい仕組みとなりました。制度を活用するために必要な「地域再生計画」の認定手続きも緩和されたことから、企業版ふるさと納税を積極的に活用することとし、募集を開始しました。

Q コロナ禍にあって、9月の募集以降、企業の反響はどうだったか。

A 募集開始の直後に、「防犯交通安全推進事業」に対し寄附のお申し出をいただ

き、大変ありがたく思っています。その後も、いくつかの企業からお問合せを頂いている状況です。

Q 今後、こういった事業に対して、この制度を活用していくつもりか。

A 令和2年度は、市制施行100周年の記念事業、木曾川沿線の遊歩道や自転車道の整備事業など、56の事業で募集しています。今後も、こうした地方創生に向けた様々な事業に対し活用させていただきたいと考えています。

その他の質問事項

・市制施行100周年記念事業について

大津乃里予
自由民主党 一真会 議員



キソガワフユスリカ対策と木曾川大堰

Q ユスリカの種類と生態は。

A キソガワフユスリカとコキソガワフユスリカの2種類が主に確認されています。ひと冬に2回羽化して成虫が発生する特徴があり、木曾川の水温が10℃以下になった11～12月、1～3月に羽化します。

Q 平成30年度に引き続き令和元年度の大量発生を、市としてどう捉えているのか。

A 国の木曾川上流河川事務所は、「11、12月に多くの降雨があり大きな出水があった年には発生量が減少する傾向がある」との見解であり、11、12月の出水が少なかったことが増加の要因ではないかと考えます。

Q 木曾川水系河川整備計画による護岸の整備でワンド（池のように流れがない場所）を作ることによりユスリカが生息しやすい場所ができるのではないのか。

A ワンドが多い区域で発生量が多いという結果は出ていません。

Q 木曾川の下流に利水用施設として建設された木曾川大堰があり、ユスリカ発生量には大堰のゲート操作が大きく関わってくるが、操作することによって木曾川の河床は攪拌されるとい認識で間違いはないか。

A 木曾川大堰のゲート下から放流するアンダーフロー操作により、河床に流れを生じさせ、攪拌されると考えています。

本山 廣次
令和会 議員



「木曾川沿川サイクリングロード」と「西中野渡船場（中野の渡し）」の今後について

Q 「木曾川沿川サイクリングロード」の進捗状況は。

A 犬山市の「木曾川犬山緑地」から稲沢市の「サリオパーク祖父江」までの総延長は約30kmで、現在のところ、犬山市から一宮市木曾川町里小牧地区までの約18kmがつながっています。一宮市内の計画延長は約17.9kmで、令和2年3月末時点で、約13.5kmが整備済みとなっており、進捗率といたしましては約75%となっております。

Q 有料で更衣室やシャワーを利用できるような施設を設置してはどうか。

A 河川区域内での建築や、工作物を設置する場合には河川管理者との協議、そして、河川法の許可が必要となります。今後のサイクリングロードの利用状況や、整備の進捗状況、また、利用者のニーズなどを踏まえ、沿川他市町と連携しながら、研究してまいりたいと思っております。

Q 愛知県営西中野渡船場（中野の渡し）は、現在建設中の新濃尾大橋（仮称）が完成後は廃止されるのか。

A 新濃尾大橋（仮称）完成後には道路としての役目は無くなります。その後の「西中野渡船」をどうするのかは、現時点では決まっておりません。

新緑風会
西脇 保廣 議員



市内公共スポーツ施設について

Q 尾西運動場グラウンドの使用料が令和2年7月から有料化されたが、子どもや高齢者に対して減免等の配慮があれば、スポーツ活動など、より活発になると思うが。

A グラウンドを管理・運営していくためには、多額の費用が必要です。施設を利用されない方が不公平感を持たれないよう、他施設と同様、年齢に関わらず、ご利用される方に相応の負担をしていただくことが望ましいと考えております。

Q 尾西スポーツセンターのトレーニングルーム機器に不具合が生じた際、一向に修理されなかったとの声が届いているが、

実際の状況は。

A 令和元年度に2件、修理に伴い利用できない期間が、各20日間程度ありました。なお、その間にあっては、修理の進捗状況を表示しておりました。

Q 尾西プールは、平成29年度の開場を最後に、老朽化に伴う施設故障により開場されておらず、何人もが一般質問で取り上げられているが、確認と要望の意味合いを込めて、現在の状況を聞かせてほしい。

A 従来の答弁の繰り返しとなりますが、富田山公園の再整備計画の中で、今後のプールの在り方を含めて関係部署と検討しているところであります。

公明党一宮市議団
平松 邦江 議員



市民の健康を守る取組について

Q 子宮頸がんワクチン定期接種についての情報を、現在小学6年生に個別送付されているが、国からも通知があったことを受けて、対象期間の最後となる高校生にも通知を送付されたい。

A 定期接種の残り期間の短い対象者に不利益にならないよう検討していきます。

Q 女性特有のがん検診の受診率向上のために、複数の検診等を組み合わせるなど、お得感が感じられるよう工夫されたい。

A 乳がん検診と子宮頸がん検診を合わせて受診できる医療機関は限られていますし、骨粗しょう症検査などを実施できる医

療機関も限られていますが、医師会とも協議しながら、今後研究していきます。

Q 一宮市の特定健診の受診率は良いようだが、特定保健指導の受診率が全国平均よりも低いので、改善されたい。さらに糖尿病の重症化予防にも一層取り組まれたい。

A 特定保健指導は医師会の協力を得て受診率向上のための方策を考えます。糖尿病の重症化予防は適切な受診勧奨を行うとともに、予防講座を案内しています。

日本共産党一宮市議団
彦坂 和子 議員



コロナ対策と中核市移行について

Q 第3波のコロナ感染が広がっている。コロナ対策として求められるのは、特に介護施設の入所者・職員を定期的に検査する社会的検査で、高齢者の重症者の発生を予防することが大切と考えるがいかがか。

A 一定規模の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の入所定員は、合計で2千名を超えており、施設に関わる方々を定期的に検査することは現実的でなく、市で行う考えはありません。

子どものインフルエンザ予防接種に補助を

Q 県内で5割の自治体が子どもや妊婦

への助成を行っている。市で子どもや妊婦への補助の検討をしてほしい。

A 実施すべき定期接種に位置づけられるか、引き続き国の動向を注視する必要があり、対象の拡大は難しいと考えます。

スズメバチの巣の駆除に補助を

Q 市は2020年度より撤去事業を廃止した。スズメバチは攻撃的で危険なので、巣の撤去の補助について検討してほしい。

A 限られた財源を有効活用できるよう、事業廃止して、費用負担をお願いする形にしましたが、安全面での配慮はしておりますので、ご理解ください。

公明党一宮市議団
市川 智明 議員



AI・RPA・ICTの活用について

Q パソコン上の操作をソフトウェアで自動化するRPAについて、令和2年度時点での市の状況はどうか。

A 令和元年度からは、RPAプログラム作成の職員研修を実施し、自らの力でプログラムを作成できる職員を育成しています。税の申告書の入力作業や、手数料の納付書作成の自動化など、1年間で1000時間余が削減できると見込んでいます。

Q AI活用の事例として、千葉市が取り組むスマホのアプリとカメラを使った比較的安価な「AIによる道路管理」がある。導入について市はどのような考えか。

A 特に交通量の多い幹線道路については、路面性状測定車、舗装構造診断車による点検・診断結果を基に、計画的に舗装修繕を実施しています。千葉市が取り組む「AIによる道路管理」については、新たな技術として参考にし、実用可能か研究していきます。

Q 高齢者向けのデジタル活用支援員推進事業の導入について、市の考えはどうか。

A 市ではオンラインによるサロン開催に向けた研修会や老人クラブの「スマホ教室」等ICTの環境が少しずつ始まった状況です。高齢者向けのデジタル活用支援員の導入については、今後研究していきます。

令和会
木村 健太 議員



老人クラブの活性化のために

Q 書類手続きを簡素化することはできないのか。

A できるだけ簡単に記入できるよう様式を変更したり、手続き方法をわかりやすく理解していただけるよう「補助金事務の手引き」を令和2年度に作成いたしました。

Q ウィズコロナの観点を含みながら、少しずつでも活動が行えるように老人クラブ連合会や担当課からサポートするようなガイダンスを独自に出していただくことはできないか。

A コロナ禍における活動方法をサポートするガイダンスについては、厚生労働省が

高齢者の通いの場における活動の留意点を記載したチラシを作成していますので、そのチラシを活用し、老人クラブ連合会と協議しながら検討していきたいと思えます。

Q 老人クラブ会員証を交付して、様々な業種へ協力店を集い、会員になる特典を設けることはできないか。

A 老人クラブ会員証の交付や協力店の募集等については、実施主体が老人クラブ連合会となるため、老人クラブ連合会へこの事業について提案し、実施することとなった場合は、市広報による協力店の募集など協力して進めていきたいと考えております。

いちのみやを良くする会
後藤 美由紀 議員



第3波に向けた保育士の在宅勤務について

Q 在宅勤務については、緊急事態宣言発令の際に保育士への導入を提案し、限定保育に合わせた実施されたが、期間を限定することなく、また専門書での学習やピアノの練習など自ら取組みを選択できるように見直し、実施できないか。

A 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、在宅勤務の必要性や取り組む内容を判断していきたいと考えています。

くすることや、年度途中であっても追加配置するようにこれまでお願いしてきたが、対応状況を教えてほしい。

A 園児の状態に柔軟に対応できるよう、園児3人または2人に対し、保育士1人を追加で配置しています。また、担任・担当を持たないフリーの保育士を年度途中で配置するなど、柔軟な対応に努めています。

障害児保育の職員体制について

Q 障害のある園児4人に対して保育士が1人追加で配置される体制をさらに手厚

その他の質問項目

・学生と潜在保育士の活用方法と年少副担任制度

いちのみやを良くする会
宇山 祥子 議員



公共施設の有効活用

Q 宮西公民館の建替えについて現状を教えてください。

A 公民館の耐震診断の評価は、A判定「耐震性が確保されている」で、施設や設備が老朽化等に伴い不具合が発生した場合は、できる限り早急に修繕等を行い、利用者の方にご迷惑をおかけしないようにしています。建替えは、「一宮市公共施設等総合管理計画」のもと、公共施設全体とのバランスも考慮しながら整備を進めていく必要があります。現時点で建設の時期や場所等をお示しすることは難しいと考えています。

く婦人の家については、先の令和2年9月議会にて廃止とする条例が可決、令和3年3月末で廃止。その後の公共施設として有効活用を検討するとの話だったが、利用者が行き先に困ることも想定され、配慮できないか今後の運営についてはどうか。

A 令和3年4月以後で、施設使用が未定の期間があれば、現在の状況を踏まえて早急に検討してまいります。

Q ききょう会館の3階から5階にある働

その他の質問項目

・高齢者の方の大切な財産を守るために一宮市は愛知県下特殊詐欺被害件数ワースト1

次回3月定例会の日程

日程は変更になることがあります。 ID 1005106

本会議	
3月 1日(月)	開会・議案上程
3月 5日(金)	会派代表質問
3月 8日(月)	一般質問
3月 9日(火)	一般質問
3月23日(火)	討論・採決・閉会

■開議時刻 ……午前9時30分
■傍聴場所 ……本庁舎14階 議場傍聴席

常任委員会	
3月11日(木)	総務委員会
3月12日(金)	福祉健康委員会
3月15日(月)	経済教育委員会
3月16日(火)	建設水道委員会

■開議時刻 ……午前9時30分
■傍聴受付場所 ……本庁舎12階 議会事務局
■傍聴受付開始時刻 ……午前9時(定員10名)

議案・請願審議結果

令和2年12月定例会では市長提出議案92件、委員会提出議案2件、請願書9件を審議しました。

ID 1023410

議決結果一覧表

議案番号	件名	付託委員会				議決結果
		総	福	経	建	
認定1	令和元年度愛知県一宮市水道事業会計決算の認定について				●	認定
認定2	令和元年度愛知県一宮市下水道事業会計決算の認定について				●	認定
認定3	令和元年度愛知県一宮市病院事業会計決算の認定について				●	認定
認定4	令和元年度愛知県一宮市一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	●	認定
認定5	令和元年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		●			認定
認定6	令和元年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について		●			認定
認定7	令和元年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		●			認定
認定8	令和元年度愛知県一宮市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について				●	認定
認定9	令和元年度愛知県一宮市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	●				認定
認定10	令和元年度愛知県一宮市外崎土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について				●	認定
市長提出71	一宮市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出72	特別職員の給与に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出73	一宮市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出74	令和2年度愛知県一宮市一般会計補正予算	●	●	●	●	可決
市長提出75	令和2年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出76	令和2年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出77	令和2年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出78	令和2年度愛知県一宮市公共駐車場事業特別会計補正予算	●				可決
市長提出79	令和2年度愛知県一宮市外崎土地区画整理事業特別会計補正予算				●	可決
市長提出80	令和2年度愛知県一宮市病院事業会計補正予算		●			可決
市長提出81	令和2年度愛知県一宮市水道事業会計補正予算				●	可決
市長提出82	令和2年度愛知県一宮市下水道事業会計補正予算				●	可決
市長提出83	一宮市外部監査契約に基づく監査に関する条例の制定について	●				可決
市長提出84	一宮市食品衛生条例の制定について		●			可決
市長提出85	一宮市興行場法施行条例の制定について		●			可決
市長提出86	一宮市旅館業法施行条例の制定について		●			可決
市長提出87	一宮市公衆浴場法施行条例の制定について		●			可決
市長提出88	一宮市感染症診査協議会条例の制定について		●			可決
市長提出89	一宮市保健所等設置条例の制定について		●			可決
市長提出90	一宮市理容師法施行条例の制定について		●			可決
市長提出91	一宮市化製場等に関する法律施行条例の制定について		●			可決
市長提出92	一宮市医療法施行条例の制定について		●			可決
市長提出93	一宮市クリーニング業法施行条例の制定について		●			可決
市長提出94	一宮市一般と畜場の構造設備の基準に関する条例の制定について		●			可決
市長提出95	一宮市美容師法施行条例の制定について		●			可決
市長提出96	一宮市動物の愛護及び管理に関する条例の制定について		●			可決
市長提出97	一宮市指定通所支援の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について		●			可決
市長提出98	一宮市社会福祉審議会条例の制定について		●			可決
市長提出99	一宮市指定障害福祉サービスの事業等の設備、運営等に関する基準等を定める条例の制定について		●			可決
市長提出100	一宮市民生委員定数条例の制定について		●			可決
市長提出101	一宮市保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例の制定について		●			可決
市長提出102	一宮市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について		●			可決
市長提出103	一宮市養護老人ホーム等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について		●			可決
市長提出104	一宮市指定居宅サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について		●			可決
市長提出105	一宮市子ども・子育て審議会条例の制定について		●			可決
市長提出106	一宮市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の制定について		●			可決
市長提出107	一宮市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の制定について		●			可決
市長提出108	一宮市幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の制定について		●			可決
市長提出109	一宮市空き地の不良状態の解消に関する条例の制定について			●		可決
市長提出110	一宮市産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例の制定について			●		可決
市長提出111	一宮市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の制定について			●		可決
市長提出112	一宮市屋外広告物条例の制定について				●	可決

総務委員会、福祉健康委員会、経済教育委員会、建設水道委員会の略です。

閉会中の継続審査となった議案は下記のとおりです。

議案番号	件名
請願3	国民健康保険税の引き下げを求める件
請願5	所得税法第56条の廃止を求める件
請願6	75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する件
請願9	一宮市スケート場の存続・新設を求める件
請願10	公共施設等の使用料・手数料の引き下げを求める件
請願11	小・中学校の少人数学級を求める件
請願12	陽性者が出た小・中学校でのPCR検査を求める件
請願13	「全国一律最低賃金制と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める件
請願14	「一宮市働く婦人の家」の利用の継続を求める件

Doors -トピックス- 議会をひらく 市民に伝える

島文楽

市内には国・県・市指定と国登録の文化財が計324件あります。今回は、その中の葉栗地域島村の島文楽を紹介します。



写真の演目
傾城阿波の鳴門
巡礼歌の段

文楽は、300年以上の歴史をもつ伝統芸能です。江戸時代の終わり頃、慶応3年(1867年)葉栗郡大毛村(現在の一宮市大毛)の村人たちが岐阜県山県郡巖美村字加野(現岐阜市芥見)の渡辺常助から金七両で人形を買い受けました。

大毛村では若者の間に親しまれたものの、人形芝居に夢中になって農事を顧みないので、その親たちが腹を立て人形を取り上げ、島村(大毛村の隣村)の住民に譲ってしまいました。

譲り受けた島村では、岐阜三宅の豊松清十郎らの指導を受けて農閑期を利用し練習に励み、縁日などで興行して歩いたと言います。

明治、大正、昭和初期にかけて絶えず10余名で伝承され、昭和初期には「人形浄瑠璃連中」「嶋人形連中」という仲間があったことが写真資料によって記録されています。

以後、昭和36年に一宮市指定無形文化財に指定され、技術の保存伝承に努力されてきました。『島デコ』と呼ばれてきた伝統文化の伝承・普及のため、市内の小中学校をはじめさまざまな場所で公演をしてきました。

地元の葉栗小中学校では、学校の協力も受け、授業の一環として、子どもたちが島文楽を体験しており、中学生も保存会に参加しており、毎年8月の『いちのみや民俗芸能のつどい』で公演を行っています。

なお、人形36点は、平成元年に一宮市指定有形民俗文化財に指定されています。

問い合わせ先
一宮市博物館 TEL 0586-46-3215



編集後記

12月定例会では、新型コロナウイルス感染症対策に関する議案、また、令和3年度中核市移行に向けての議案が多く、「議案・請願審議結果」のページの字体が小さくなりましたこと、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

編集委員一同、今後もしっかりと読みやすい紙面づくりに努めてまいります。

議会だより編集委員会

委員長 渡部 晃久 副委員長 鵜飼 和司
委員 本山 廣次 大津 乃里子 市川 智明
小林 けいめい 宇山 祥子 彦坂 和子

議会だより138についてのご意見をお聞かせください。(一宮市議会事務局 議事調査課 Tel. 0586-28-9139)

一宮市議会の情報については、一宮市のウェブサイト
(ホームページ)からご覧いただけます。 ID 1000010



一宮市マスコットキャラクター
いちみん